

道路事業事前評価調書

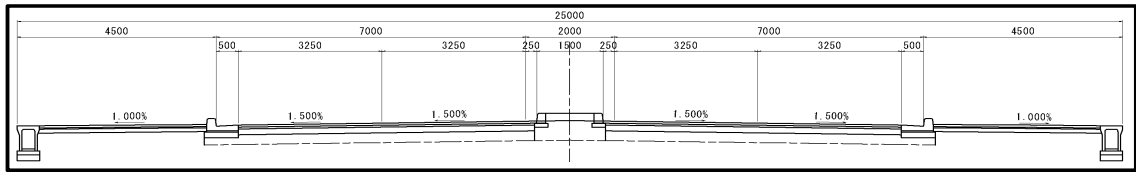
路線・河川等名		都市計画道路 <small>やまてかんせん</small> 山手幹線	事業名	防災・安全交付金（街路）事業	補助・単独の別	補助
事業主体		京都府	事業箇所（区間）	相楽郡精華町大字植田 ^{うえだ} ～木津川市吐師 ^{はぜ} 地内		
事業概要	路線概要	都市計画道路山手幹線は、八幡市八幡南山の国道1号を起点に木津川市吐師宮ノ前に至る、京都府南部地域を南北に貫く幹線道路である。				
	事業目的	本事業区間を並走する主要地方道八幡木津線は、近隣に位置する川西小学校の通学路となっているが、自動車交通量が多く、歩道の幅員も狭小なため、未整備区間となっている本事業区間をバイパス道路として整備することにより、自動車の走行性及び歩行者の安全性の向上を図るものである。				
	上位計画等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 京都府総合計画 山城地域振興計画 ○ 京都のみち 2040 ○ 木津川市都市計画マスタープラン、精華町都市計画マスタープラン ○ 精華町通学路交通安全プログラム 				
	整備内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 整備延長：L=0.9km ○ 計画幅員：W=13.0(25.0)m 4車線 自転車歩行者道付き（両側 4.5m） ○ 事業費：約8.8億円 				
事業の社会経済情勢及び地元情勢等必要性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自動車交通量 14,782台/日（H27 センサス） ○ 自転車交通量 77台/12時間（H27 センサス） ○ 歩行者交通量 87人/12時間（H27 センサス） ○ 第一次緊急輸送道路に指定 ○ 精華町通学路交通安全プログラムの要対策箇所 ○ 京都府無電柱化推進計画 					
事業の有効性	<ul style="list-style-type: none"> ○ バイパス道路の整備により、歩行者の安全性が向上する。 ○ けいはんな学研都市の一体性の確立、精華町や木津川市のまちづくりを支援する。 ○ 災害時における緊急輸送能力が向上する。 					
事業の効率性等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土地区画整理事業と一体的に施工することで、コスト縮減を図る。 ○ 高齢者等に配慮した、バリアフリー構造の歩道を整備する。 ○ 二次製品を積極的に使用しコスト縮減を図る。 					
総合評価	<p>本事業は、自動車の走行性及び歩行者の安全性の向上を図るものである。</p> <p>本事業箇所は、精華町や木津川市のまちづくりを支援するとともに、土地区画整理事業と一体的に施工することでコスト縮減が図れるため、新規着手の必要がある。</p>					



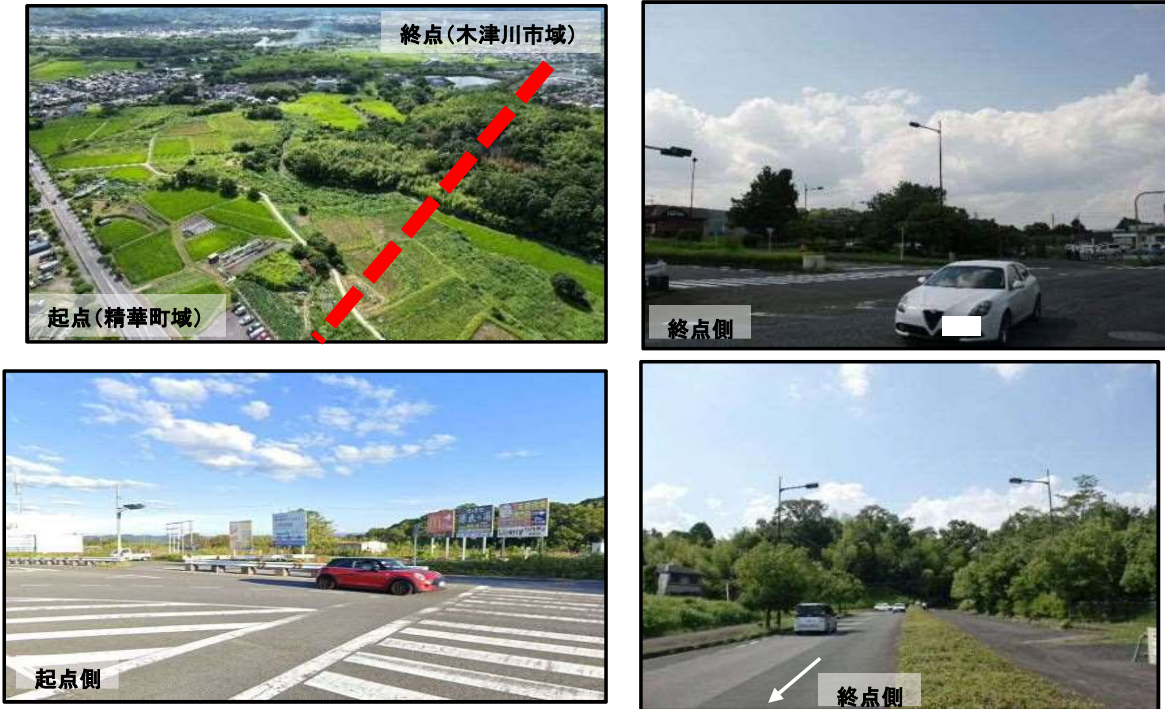
【広域位置図】



【位置図】



【計画横断面図】



【現況写真】

『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

作成年月日	令和5年2月17日
作成部署	建設交通部 道路建設課

事業名	山手幹線 防災・安全交付金(街路)事業	地区名	相楽郡精華町大字植田～木津川市吐師地内
概算事業費	約8.8億円	事業期間	令和5年度～
事業概要	精華町通学路交通安全プログラムに基づき、幅員狭小な片側歩道の解消に伴い、道路整備を行うことにより、円滑な車両交通の確保と安全な歩行空間を確保するものである。【L=0.9km W=13.0(25.0)m】		
目指すべき環境像	通過交通の分散による渋滞緩和により、車両の交通環境が改善する。古墳等が存在する地域であることから、埋蔵文化財保護に適切に対応する。		
関連する公共事業	精華学研東部土地区画整理		

	評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
	主要な評価の視点	選定要否			
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)	○	歩道の整備が不十分であり、自動車と歩行者、自転車等の通行に支障があることから、車両の速度低下が発生している。	4車線道路の道路整備により、円滑な通行環境を確保し、CO ₂ 排出量の削減を図る。	4
	地形・地質				
	物質循環(土砂移動)				
	野生生物・絶滅危惧種				
	生態系				
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン	○	当該箇所は「通学路交通安全プログラム」の要対策箇所であるため、安全な歩行空間を確保する必要がある。 事業実施に伴い騒音・振動が予想される。 事業実施により発生する建設発生土、資源の再利用に努める必要がある。	バリアフリー構造の歩道を整備し、誰もが安全に通行できる歩行空間を整備する。 早朝・夜間の工事を極力避けるとともに、低振動、低騒音の建設機械を積極的に使用する。 廃棄物・リサイクルに配慮した工事を実施する。	4
	水環境・水循環				
	大気環境				
	土壌・地盤環境				
	騒音・振動	○			
	廃棄物・リサイクル	○			
	化学物質・粉じん等				
	電磁波・電波・日照				
その他					
地域個性・文化環境	景観	○	現道周辺は、区画整理事業と一体的な道路整備となることから、まちづくりと協働して事業を行う必要がある。 古墳、遺跡、城跡等が存在する地域であることから、埋蔵文化財保護には適切に対応する必要がある。	自転車通行帯、歩道の整備を行い、自動車、自転車と歩行者の分離を図り、誰もが安心・安全に通行できる歩行空間を確保する。 文化財保護課と連携して文化財の発掘調査等の適切な対応を図る。	3
	里山の保全				
	地域の文化資産	○			
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働				
	その他	○			
外部評価					

(別紙)

構想ガイドラインチェックリストの記載要領

- 1) 「施工地の環境特性と目標」欄：評価項目の「主要な評価の視点選定の考え方」に当てはまる項目について、下記の記載要点を踏まえて施工地の環境特性と目指すべき方向（環境目標）についての点検を行い、できるだけ具体的に（例えば絶滅危惧種の名称等）記載すること。
- 2) 「環境配慮・環境創造のための措置内容」欄：「施工地の環境特性と目標」の記載内容に対応して実施しようとする回避措置や自然再生・環境創出等の方策について記載すること。
- 3) 「環境評価」欄：評価項目ごとの環境配慮の自己評価を記載する。
 （改善；5、やや改善；4、現状維持；3、やや悪化；2、悪化；1）

評価項目		「施工地の環境特性と目標」の記載要点
	主要な評価の視点	
地球環境・自然環境	地球温暖化 (CO ₂ 排出量等)	・事業の実施又はそれによって設置される施設の供用に伴って温室効果ガスの著しい発生が予測されるため、発生抑制や吸収源の創出などが必要。
	地形・地質	・地域の自然環境の基盤となっている地形・地質の維持・保全・改善・回復などが必要。
	物質循環 (土砂移動等)	・河川における土砂移動機能が良（又は不良）であるため、その維持（又は改善）が必要。
	野生生物 ・絶滅危惧種	・京都府レッドデータブック掲載の「絶滅が危惧される野生生物」の生息地等が確認されたため、その維持・保全・改善・回復などが必要。
	生態系 その他	・地域生態系の維持・保全・改善・回復などが必要。 ・その他、施工地及び周辺地域における地球環境や自然環境の特性と目指すべき方向（環境目標）
生活環境	ユニバーサルデザイン 水環境・水循環	・高齢者や障がい者など社会的弱者に配慮した施設構造としていくことが必要。 ・事業前の水環境・水循環が良（又は不良）であるため、その維持（又は改善）が必要。
	大気環境	・事業前の大気環境が良（又は不良）であるため、その維持（又は改善）が必要。
	土壌・地盤環境	・事業前の土壌・地盤環境が良（又は不良～汚染、沈下、水脈分断など）のため、その維持（又は改善）が必要。
	騒音・振動	・事業の実施又はそれによって設置される施設の供用に伴って、騒音・振動の発生が予測されるため、発生抑制が必要。
	廃棄物・リサイクル	・事業の実施又はそれによって設置される施設の供用に伴って、建設廃棄物の大量発生が予測されるため、発生抑制、再使用、リサイクルなどが必要。
	化学物質・粉じん 電磁波・電波環境・日照 その他	・事業の実施又はそれによって設置される施設の供用に伴って、化学物質や粉じんによる汚染が予測されるため、汚染の防止・抑制が必要。 ・事業の実施又はそれによって設置される施設の供用に伴って、電磁波、電波障害、日照障害が予測されるため、障害の防止・抑制が必要。 ・その他、施工地及び周辺地域における生活環境の特性と目指すべき方向（環境目標）
地域個性・文化環境	景観	・京都らしい自然景観や歴史的景観、都市景観が存在するため、その維持・保全・改善・回復などが必要。
	地域の文化資産	・史跡や天然記念物、歴史的に重要な遺跡、古道、伝承、家屋(群)など地域固有の文化資産が存在するため、その維持・保全・改善・回復などが必要。
	里山の保全	・多様な生物相や農村景観の重要な要素となっている里山が存在しているため、その維持・保全・改善・回復などが必要。
	伝統的行祭事	・地域の伝統的な行祭事等が行われているため、その維持・保全・改善・回復などが必要。
	地域住民との協働 その他	・事業の構想、設計、施工、管理などについて地域住民との協働が必要。 ・その他、施工地及び周辺地域における地域個性や文化環境の特性と目指すべき方向（環境目標）。